

応援メッセージ

福島県鮫川村長
大樂 勝弘 様

東京農業大学
学長 大澤 貫寿

東北・関東大震災のお見舞い

前略

このたびは未曾有の大地震に見舞われ、その災害復旧に全力を上げて取り組んでおられることと思います。

この度の大地震は、人間の予測能力をはるかに上回る、また予期することができない自然の猛威であり、改めて人間の無力さを痛感いたしました。新入生、在校生など本学の学生の中にも本人を含め実家や親類縁者が被害を受けた者がたくさんおります。

さて、鮫川村の住民の皆様方の被害の方はいかがでしたでしょうか。想像を絶する地震と津波の被害のすさまじさ、さらには福島原発からの放射能被害の報道を目の当たりにするにつれ、鮫川村の緑豊かな山々と農業、そして心優しく温かい住民の皆様への影響が懸念されます。東京農業大学にできることがあれば、出来る限りのご支援をさせていただきますので、何なりとお申し付けください。

地震と放射能汚染への対応と農林水産業への被害軽減に向けまして忙しい毎日が続くと思いますが、くれぐれもご健康に留意され、一日も早く平常生活に復帰されることを祈念いたしております。

大樂村長様ならびに鮫川村村民の皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

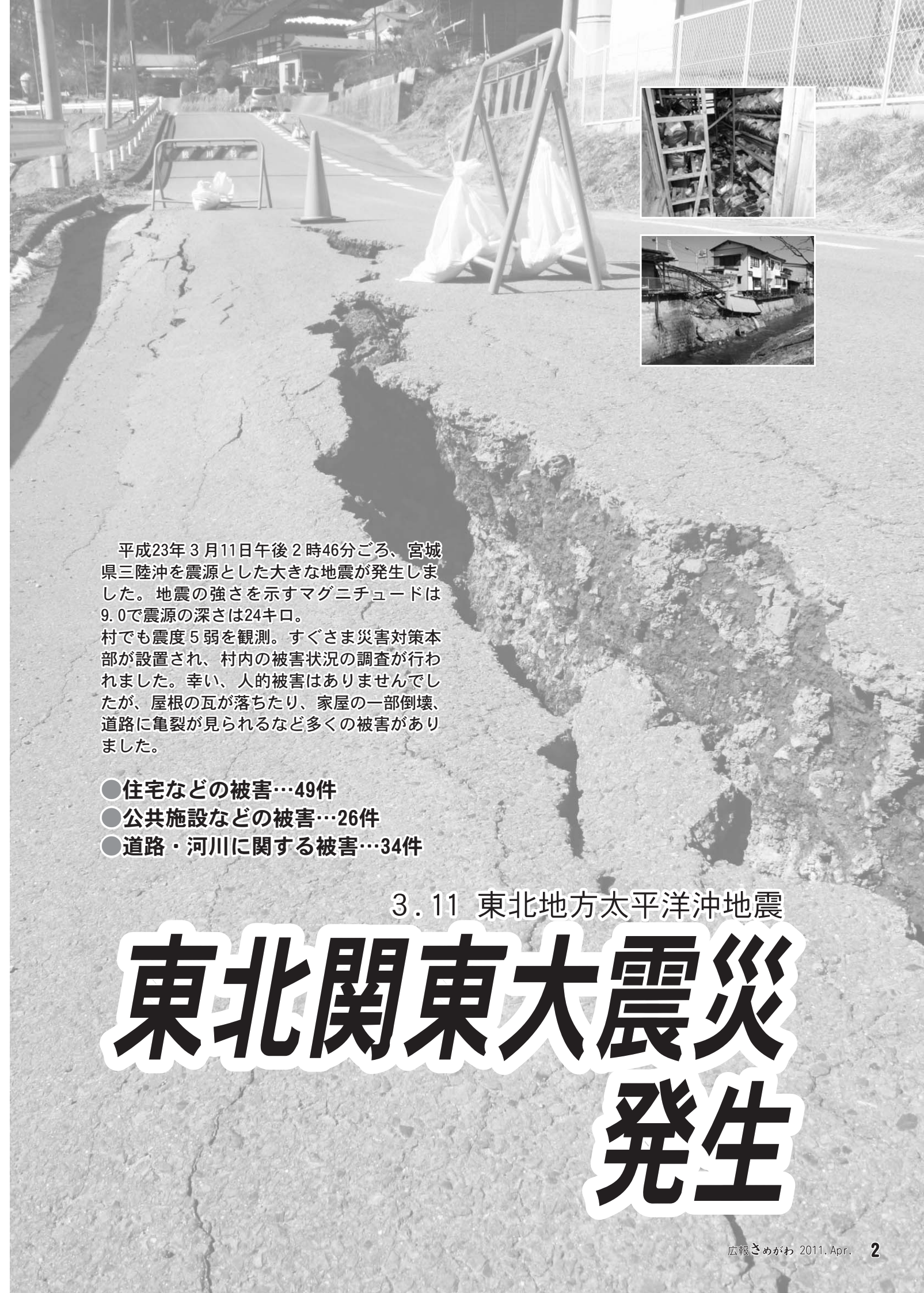
敬具

東北関東大震災義援金(敬称略)

氏名	金額
矢吹 三郎(中沢)	50万円
大樂 憲子(大塩)	20万円
鮫川村建設協力会(森正紀会長)	10万円
青戸 ケイ子(彦次郎)	5万円
藤田 隆千代(道少田)	5万円
圓谷 實(鬼越)	5万円
蛭田 吉郎(田野上)	2万円
関根 サチ子(戸倉)	1万円
菊地 清榮(彦次郎)	5千円

上記の方々からお預かりした義援金は、日本赤十字社に送金しています。

- 村に見舞金をいただいた方
東京都北区…5万円
- 山王の里へ救援物資
米や野菜、トイレトペーパーなどの生活雑貨品を提供…29人
- 毛布の提供
避難生活を送っている方に毛布提供のご協力…124人 719枚
みなさんのご協力に感謝申し上げます。



平成23年3月11日午後2時46分ごろ、宮城県三陸沖を震源とした大きな地震が発生しました。地震の強さを示すマグニチュードは9.0で震源の深さは24キロ。村でも震度5弱を観測。すぐさま災害対策本部が設置され、村内の被害状況の調査が行われました。幸い、人的被害はありませんでしたが、屋根の瓦が落ちたり、家屋の一部倒壊、道路に亀裂が見られるなど多くの被害がありました。

- 住宅などの被害…49件
- 公共施設などの被害…26件
- 道路・河川に関する被害…34件

3.11 東北地方太平洋沖地震

東北関東大震災発生



【給油所】
地震の影響により、不足しているガソリンを求め行列。



【避難所開設】
山王の里に避難所を開設。赤十字奉仕団などが、避難者皆様へのお世話をしてくださりました。



【災害対策本部設置】
役場の各課長が統監(村長)に村内の被害状況を報告。その対策について話し合いが行われました。



【物資支援】
毛布や飲料水、おにぎりなどが村外の避難所に送られました。